

# 「職場で始める！感染症対応力向上プロジェクト」の概要

## 目的

都内では、都外在住者も含め、約970万人が働いており、職場で感染症患者が発生した場合、職場内で感染が広がることが危惧され、インフルエンザやノロウイルス等の身近な感染症により企業活動に支障が出ることもあり得ます。

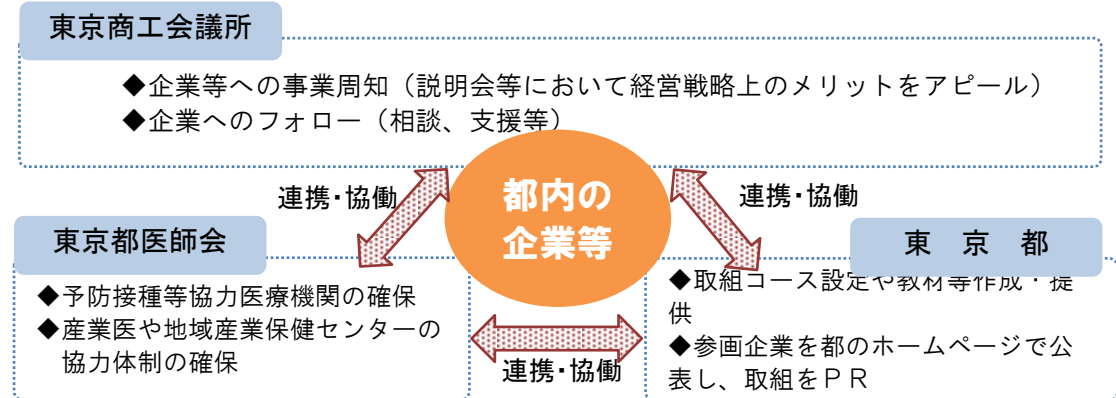
また、平成24年から25年にかけての大規模な風しんの流行では、患者の大多数が20代から40代の働く世代であり、職場における感染症対策が大きな課題となっています。

そのため、感染症の特徴、予防策等の必要な知識を得る研修の実施や、感染症BCPの作成、風しん予防対策等の取組を実施する企業を支援し、その取組を推進することで、従業員及び組織の感染症対応力を高め、職場での感染症予防・まん延防止を図っていきます。

## プロジェクトの特徴

### ① 企業団体、医師会、行政が後押し

- 東京商工会議所、東京都医師会、東京都の三者が連携して推進する体制を構築し、それぞれの強みを生かしながら、参加企業をアシストします。



### ② 企業にとり、やるべきことが明確な「コース」設定

- 必要な知識の習得や風しん予防対策など、実践すべき取組を3コース設定。企業は実情に応じたコースを選択して、すぐに取り組むことができます。

### ③ ツール提供などにより参加企業をサポート

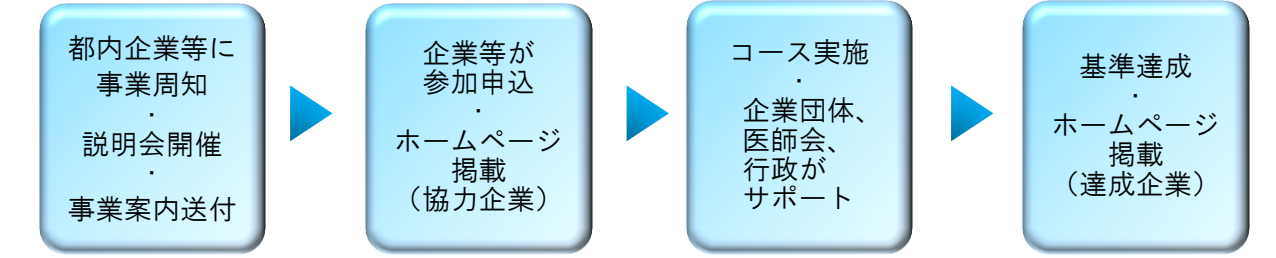
- 各コースとも、支援ツールの提供などによりサポート。参加申込みをした企業、コースを修了した企業を、それぞれ、「協力企業」、「達成企業」として都において公表し、取組をPRします。

## コースについて

- 企業等が以下のコースから選択して申し込み、取り組んでいただきます。(※1)
- 各コースとも、円滑に取り組んでいただけるよう、サポートします。
- コース実施を申し込んだ企業は「協力企業」(※2)として、申込コースの基準を達成した企業は「達成企業」として、都のホームページに企業・事業所名等を掲載します。  
※1 事業所単位、部署単位での申し込みもできます。  
※2 「協力企業」のホームページ掲載期間は6か月間となります。

コース	サポート内容	達成基準
コースⅠ 感染症理解のための 従業者研修	感染症の基礎知識ドリル(研修教材)を提供し、正しい知識の定着を図る。	従業者の8割以上が教材受講
コースⅡ 感染症BCP (業務継続計画)の作成	BCPのひな形を提供し、職場で感染症患者が発生した場合に、業務を円滑に継続するための対処策の作成を図る。	事業所単位でのBCP作成
コースⅢ 風しん予防対策の推進	予防接種等協力医療機関を紹介し、従業者の抗体(免疫)保有の確認や予防接種の推奨等を促し、職場ぐるみで風しん予防を図る。	風しん抗体保有者が従業者の9割以上

## コース参加の流れ



## 平成29年度の実施状

《平成29年度事業説明会》 全5回、合計300人が参加

	日時	会場	参加者
第1回	10/26(木)	AP東京八重洲通り	148
第2回	11/6(月)	KFC Hall & Rooms	49
第3回	11/16(木)	立川商工会議所	25
第4回	11/27(月)	北とぴあ	27
第5回	12/19(火)	TKP渋谷カンファレンスセンター	51

《協力企業・達成企業》

- 延べ394事業所が参加(協力企業)
- 延べ87事業所が達成(達成企業)

(平成30年1月10日現在)

協力企業	コースⅠ	194	394
	コースⅡ	144	
	コースⅢ	56	
達成企業	コースⅠ	65	87
	コースⅡ	15	
	コースⅢ	7	